

令和元年度 放課後活動指導者研修 実施報告④

実施日：令和元（2019）年9月11日（水）

○講 話

「子どもを理解しよう～子どもの発達に応じた大人のかかわり方～」

栃木県カウンセリングセンター 公認心理師・臨床心理士 山岡 祥子 氏



山岡先生は、臨床心理学や発達心理学等が御専門で、栃木県スクールカウンセラーとして、また学校や複数の自治体の相談員等として御活躍されています。

今回の講話では、子どもの抱える背景や発達段階の特性を知ると、見方や接し方が変わってくるとの観点から、発達のでこぼこや愛着（アタッチメント）による問題、年齢による発達の特徴等についてお話しいただきました。また、「ちょっと気になる子」への基本的な対応の仕方について、御自身が学童保育で見聞きした困りごとを例に挙げ、具体的に説明してくださいました。子どもたちに指示を出すときには、CCQ（Calm・Closer・Quiet）＝穏やかに・近づいて・静かに、また「ダメ」という言葉はできるだけ使わずに、肯定的な表現をするとよいとのことでした。

受講者は、これまでの子どもたちへの接し方を振り返り、今後どのように関わっていくべきか考えることができたようです。



★ 受講者の声 ★

- ・子どもの状態を理解した上で指導する大切さを改めて実感した。ともすれば、皆横一線で考えて、通り一遍のことで注意しがちになることを反省し、子どもたちの健全な発達を促していければと感じた。
- ・発達段階を意識して対応するだけでも、子どもとの関わり方が安定してくるのだろうと感じた。
- ・自分が気をつけて接していくことで変わっていくことがあると思うので、心がけていきたい。
- ・「寄り添いつつも枠をつける」という言葉が印象に残った。子どもたちへのまなざしは温かく、しかし、ルールやしつけはきちんと、ということを中心にこれからも子どもたちに関わっていきたい。
- ・とても興味深い内容で参加できてよかった。資料とメモをもう一度じっくり見直したい。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206

e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp